

TOTO

台付シングル混合水栓

TLHG30型
TL430型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)


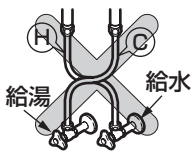


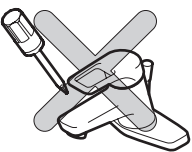
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。



●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。





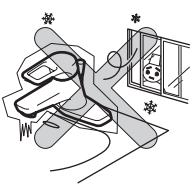

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	警告 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	○は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	●は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告		
	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

警告		
	寒冷地用 水抜コックは水抜き以外の目的で開けない 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

注意		
	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	押しボタンに強い力や衝撃を与えたり、引っ張ったりしない 作動不良・故障のおそれがあります。	
	凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く また、寒冷地用の場合は、「10 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う	
	必ず実行 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅洗面所用

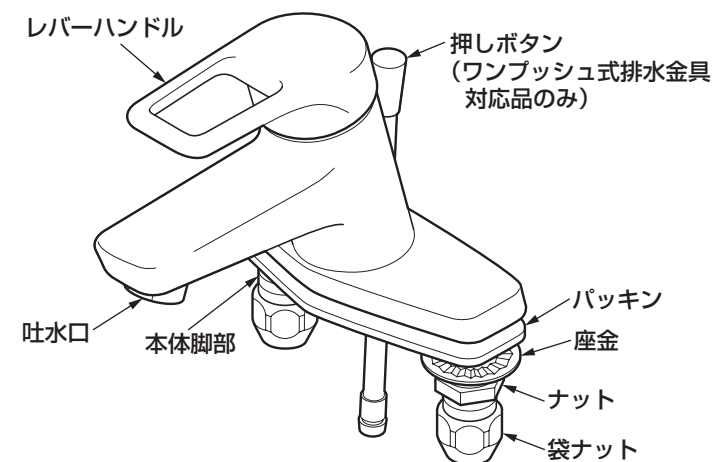

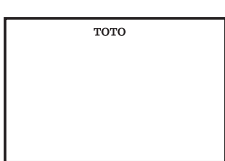
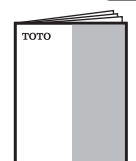


3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	
	<p><ポップアップ式排水金具の場合></p>  <p>※水栓をお取り替えの場合、TOTO品のポップアップ式排水金具はそのままご使用になれます。</p>
その他	<p style="text-align: center;">必ずお客様にお渡しください</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  施工説明書 </div> <div style="text-align: center;">  取扱説明書 </div> <div style="text-align: center;">  使いかたラベル (ワンプッシュ式排水金具対応品のみ) </div> <div style="text-align: center;">  水抜方法ラベル (寒冷地用のみ) </div> </div>

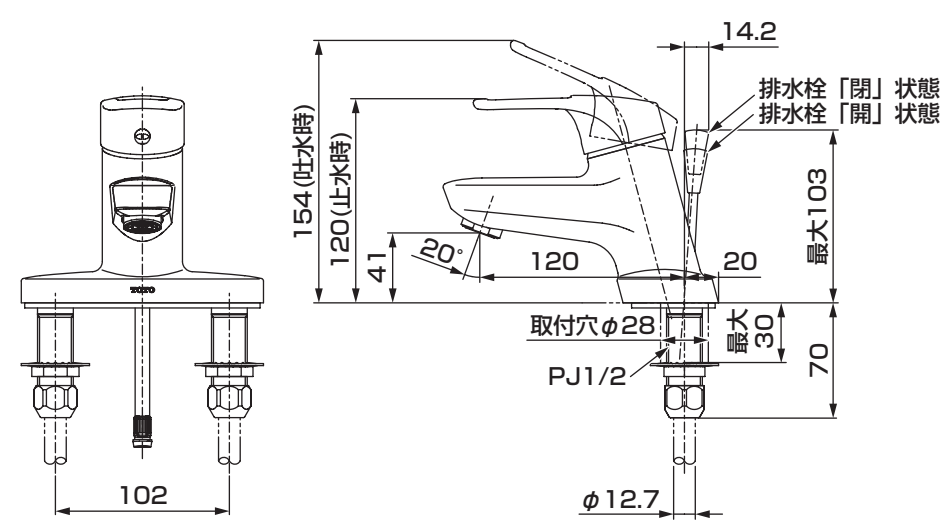
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5

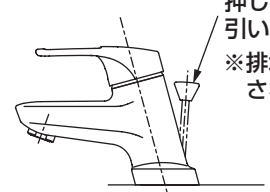
完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

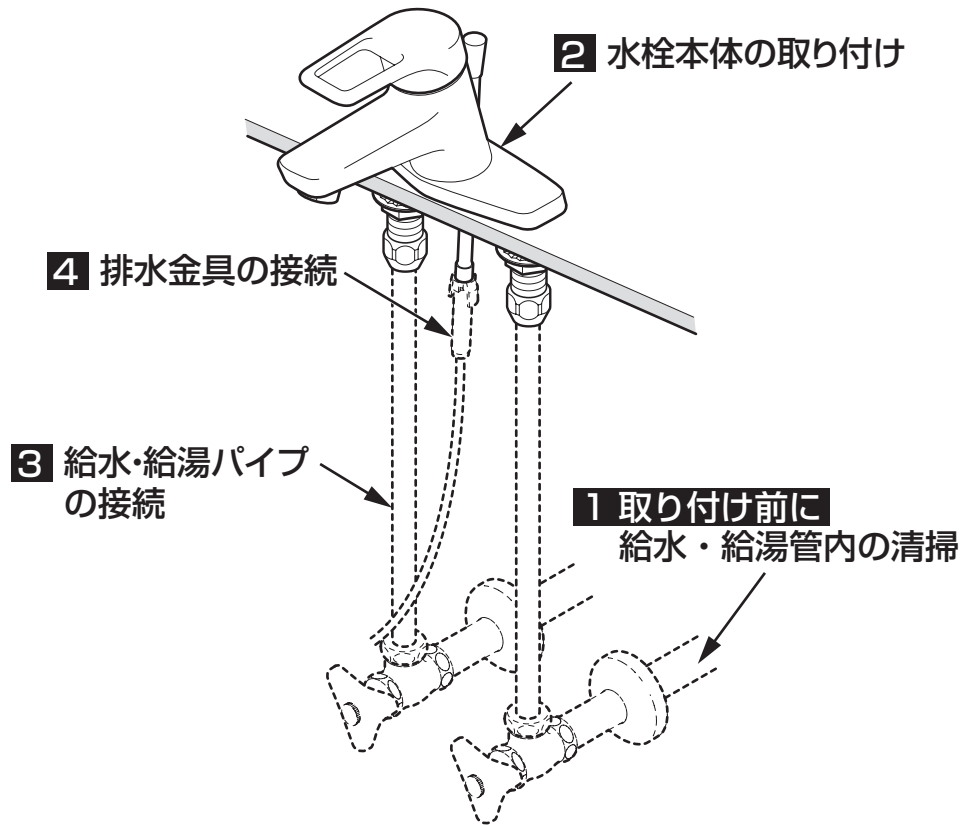
(単位：mm)



<ポップアップ式の場合>



引き棒
 押して排水栓「開」
 引いて排水栓「閉」
 ※排水金具に同梱されています。



1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

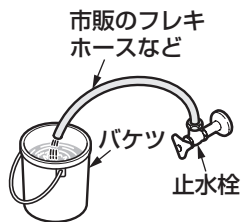
止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

- ①吐水量が少ない
 - ②温度調節がうまくできない
- 給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。



重要

2 水栓本体の取り付け

- ①取付穴周囲の汚れを取る。
- ②本体が正面を向くように仮固定する。
- ③袋ナットを本体脚部に固定する。

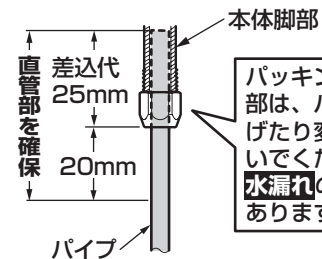
注意

固定には締付専用工具（別売品：TZY15N）を利用して確実に締め付けてください。

- ④給水・給湯パイプの必要な長さを確認し、切断する。

注意

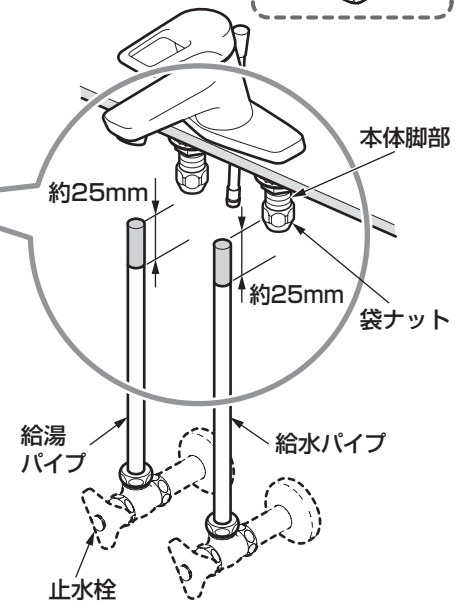
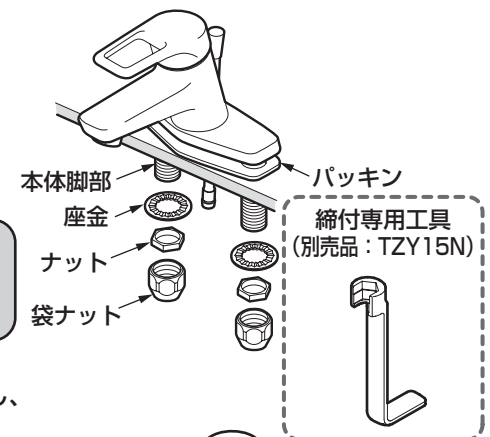
パイプはできるだけ下方で曲げ、直管部が長くなるようにしてください。



パッキンのシール部は、パイプを曲げたり変形させないでください。
水漏れのおそれがあります。

注意

- 給水・給湯パイプの抜け防止のため、パイプの差込代は約25mm確保してください。
- 給水・給湯パイプからの水漏れを防止するため、差込代（25mm）と本体脚部から20mmの直管部は必ず確保してください。



注意

給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

裏面へつづく

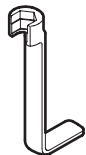
3 給水・給湯パイプの接続

- ① 給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れる。
- ② 一旦、水栓本体の仮固定を外して持ち上げ、給水・給湯パイプを本体脚部に十分に差し込む。
- ③ 水栓本体を本固定する。

注意

固定には締付専用工具（別売品：TZY15N）を利用して確実に締め付けてください。

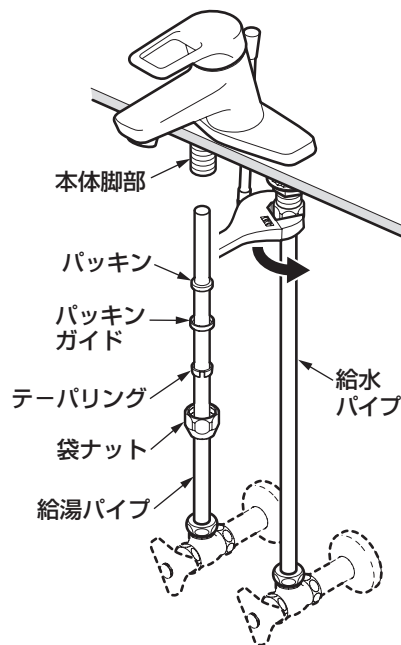
締付専用工具
（別売品：TZY15N）



- ④ パッキンをパッキンガイドに入れ、本体脚部に押し付ける。
- ⑤ パッキンガイドにパッキンが収まっていることを確認する。
- ⑥ 袋ナットを手締めで強く締め付ける。
- ⑦ さらに工具で1回転以上締め付ける。

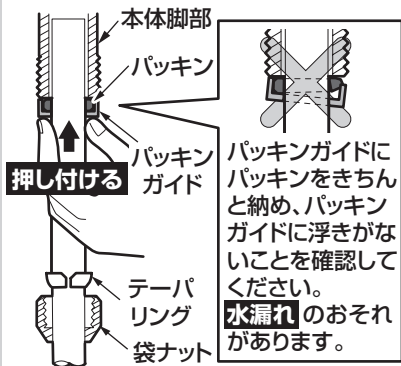
注意

袋ナットを締め付けるときは、本体脚部が動かないように工具で固定し、供回りしないように注意してください。



注意

袋ナット・テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きを間違えないように接続してください。

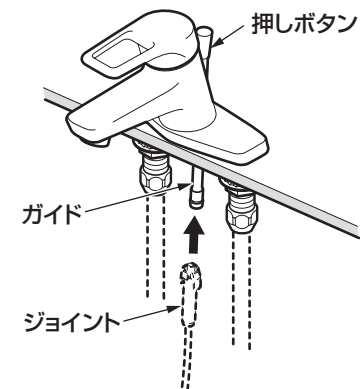


4-1 排水金具の接続

ワンプッシュ式排水金具の場合

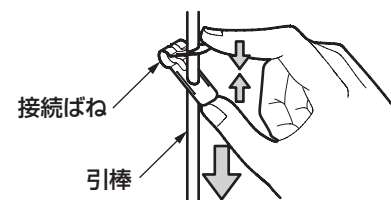
専用排水金具同梱の施工説明書に従い、排水金具を接続する。

※ジョイントの接続は、ワンプッシュ式排水金具対応品のみです。

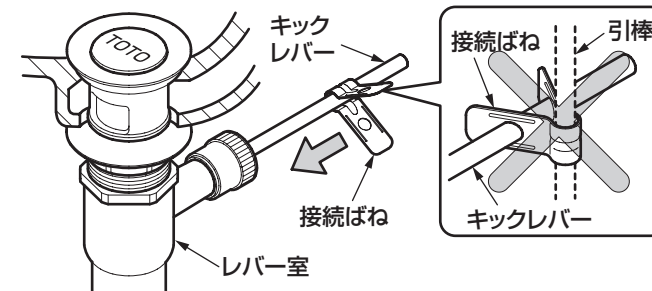


ポップアップ式排水金具の場合

- ① 接続ばねの端面をつまみながら引棒から接続ばねを引き抜く。

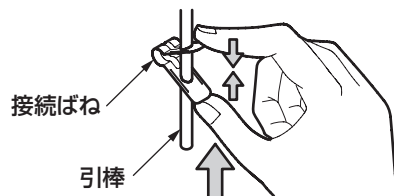


- ② キックレバーに接続ばねを通す。



4-2 排水金具の接続(つづき)

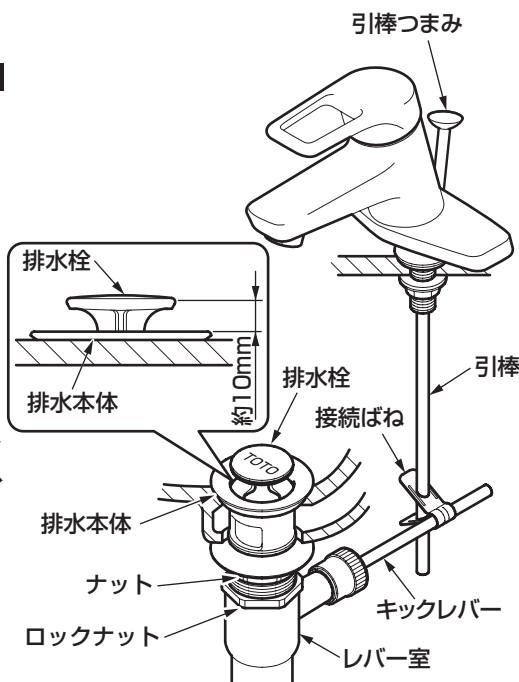
③引棒と接続ばねがうまく接続できるようにレバー室の方向を調整しながら、接続ばねの**端面をつまんで**引棒を接続ばねの穴に通す。



注意

レバー室を回転させるときは、**供回りしないようにナットを工具で固定して調節してください。**

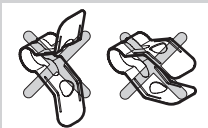
④引棒を押し下げたとき、**排水栓部のすき間が約10mm**になるように接続ばねの**端面をつまんで**調節する。



⑤排水栓本体にねじ込んでいるロックナット(つばのないナット)を**レバー室側へ戻し**、レバー室が回転しないように**締め付ける**。

注意

接続ばねを図のように折り曲げないでください。
引棒がずれる原因となります。



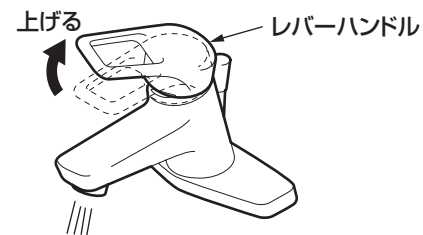
取付完了後は、引き棒を2~3度操作して正常に作動するか確認してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

施工後の調節

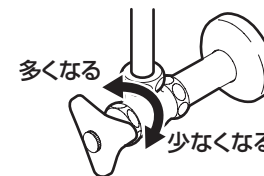
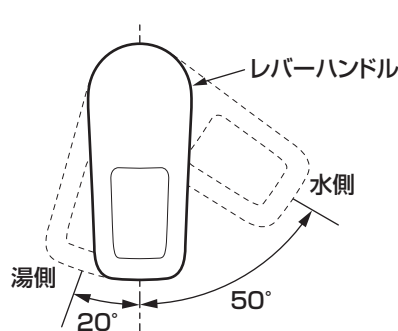
1. 水出し確認

配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。



2. 吐水温度および流量の確認(TL430型)

安全のため、湯側のレバー回転角度を20°に規制し、ハンドルを湯側いっぱい回しても湯水が混合される仕様になっています。現場にて適切な温度になるよう、止水栓を調整してご使用ください。



配管にある止水栓を回す。

止水栓の調節にマイナスドライバーなどが必要な場合があります。

使用上の注意

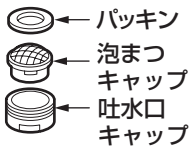
ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません**。お客様に十分にご説明ください。

現象	説明
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

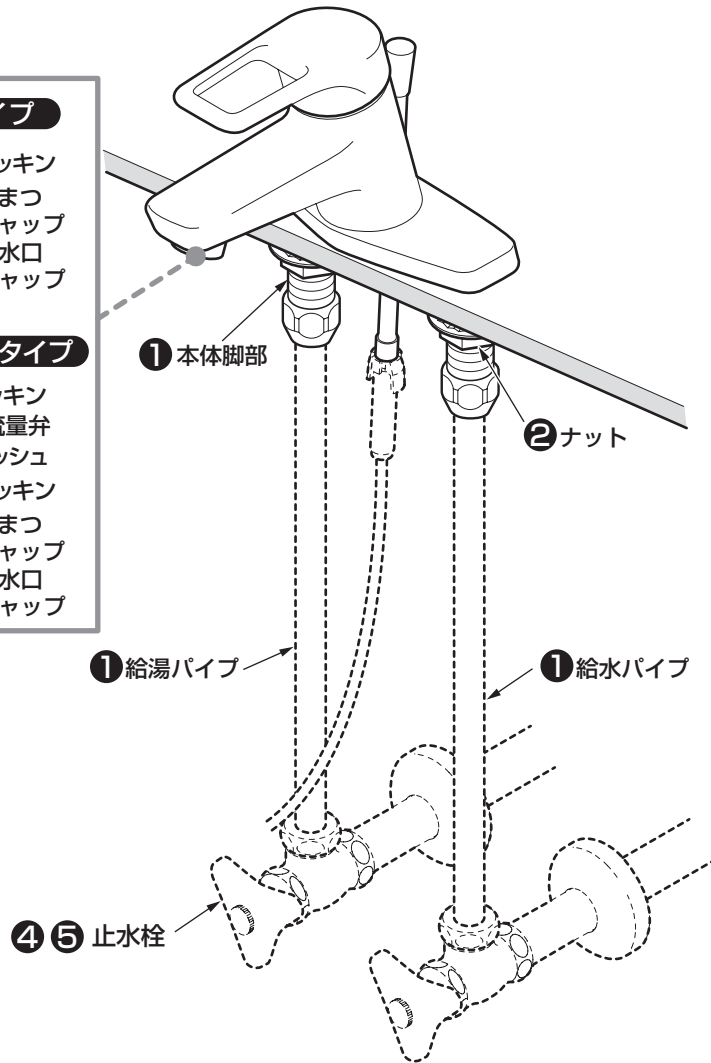
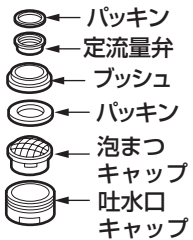
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

③ 吐水口

標準タイプ



吐水口回転タイプ



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水・給湯パイプは本体脚部にしっかり差し込まれていますか？

↳ ⑥-2 - ③「給水・給湯パイプの接続」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

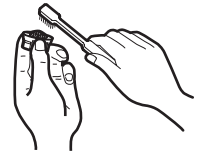
② ナットのゆるみはないですか？

↳ ⑥-1 - ②「水栓本体の取り付け」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

③ 吐水口のごみ詰まりはないですか？



↳ 吐水口の掃除をする。

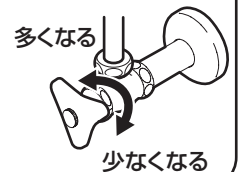
④ 止水栓は開いていますか？

↳ ⑦ ①. 水出し確認 参照

↳ ⑦ ②. 吐水温度および流量の確認 (TL430型) 参照

⑤ 水の勢いは強くありませんか？

↳ 止水栓で流量を調節する。



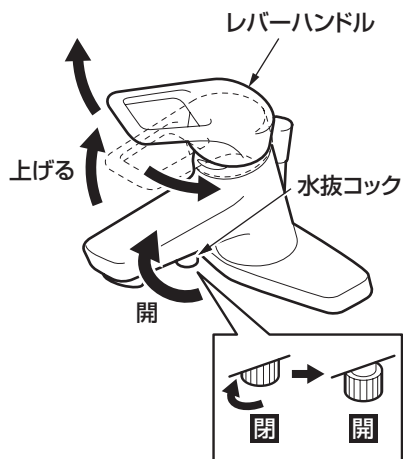
10

寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。

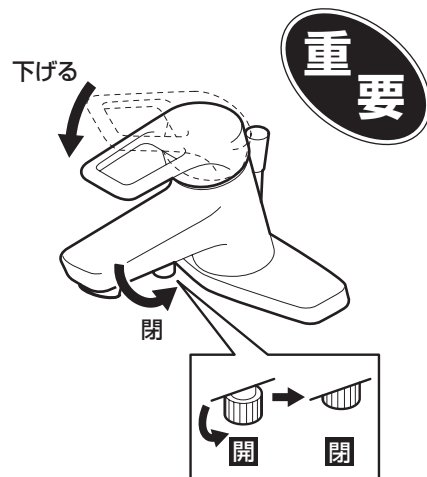
2. レバーハンドルを上げ、右側いっぱい回す。



3. 水抜コックを開ける。

4. レバーハンドルを上げたまま左側いっぱい回す。

5. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、レバーハンドルを下げる。
(水が出ない状態)



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。